

関 係 各 位

山形県医師会長 間 中 英 夫



山形県医師会在宅医療シンポジウムの開催について（ご案内）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本会では、小児から高齢者までの在宅療養患者の急変時の対応と救急搬送の現状、救急医療情報の共有、看取り、医療・介護・障害者・教育施設間の連携について理解を深めることを目的として、下記のとおりシンポジウムを開催いたします。

つきましては、時節柄ご多用中とは存じますが、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 **令和 8 年 1 1 月 2 3 日（月・祝）午後 1 時 ～ 2 時 3 0 分**
2. 開催形式 Zoomウェビナーによるライブ配信
3. テーマ 在宅療養をする小児や高齢者の急変時の安心な連携体制を目指して
～ “救急車を呼ぶ前” から始まる地域連携～
4. プログラム 別紙のとおり
5. 対 象 医療・介護・障がい福祉サービス従事者、医学生、看護学生など、
在宅医療に興味をお持ちの方
6. 申込方式 **事前申込が必要です。（無料）**
別紙チラシの 2 次元コードよりお申し込みください。

担当：山形県医師会事務局 栗原 TEL：023-666-5200 FAX：023-647-7757 E-mail：ken-ishi@yamagata.med.or.jp
--



医療・介護・障害福祉サービス従事者、医学生、看護学生向け

11月23日は在宅医療の日

令和8年度 山形県医師会 在宅医療シンポジウム

2026年11月23日(月・祝) 午後 1 時 ~ 2 時30分

zoomによるライブ配信

2次元コードより
お申込みが必要です



在宅療養をする小児や高齢者の急変時の安心な連携体制を目指して
～“救急車を呼ぶ前”から始まる地域連携～

第Ⅰ部 講演 座長 山形大学医学部附属病院難病診療連携センター長 太田 康之 在宅療養患者の急変時の対応と救急搬送の現状と取り組みについて

- 1 村山地域における救急医療情報共有システムの構築 ～現状と課題、今後の展望～
山形市消防本部救急救命士 尾形 一
- 2 本人の意思を尊重する救急活動 ～DNARプロトコル～
埼玉西部消防局・副主幹 村松 大晴
- 3 難病・医療的ケア児者と高齢者における訪問看護時の救急連携体制
WyL株式会社東北エリアマネージャー カストロ沙織
- 4 北村山救急医療情報シートについて
北村山公立病院 院長 國本 健太

第Ⅱ部 シンポジウム・指定発言 座長 山形県医師会常任理事 柴田 健彦

- 1 介護施設における医療機関との救急連携体制
一般社団法人山形県老人福祉施設協議会副会長 齋藤 好功
- 2 障がい者施設における医療機関との救急連携体制
ユニオンソーシャルシステム株式会社ピース新庄 取締役 事業調整係 加藤 葵
- 3 学校現場での難病・医療的ケア児における救急連携対応の取り組み
山形県立山形養護学校養護教諭 峯田菜津美
- 4 家族の視点での在宅・救急医療
山形県医療的ケア児者・重症児者の会 Faro ～ふぁーろ～ 海保 智美
- 5 医学生の視点での在宅・救急医療
山形大学医学部医学科3年 原田 奈歩
- 6 看護学生の視点での在宅・救急医療 鶴岡市立荘内看護専門学校看護学科3年 鈴木 真理
- 7 在宅医療の現場での医療的ケア児者、高齢者の救急医療と看取り
山形県医師会在宅医療委員会委員長 岡田 恒弘
- 8 置賜地域における高齢者救急の適正化へ向けた取り組み 置賜保健所所長 鈴木恵美子

90分のご出席を確認できた医師には、日本医師会生涯教育制度 1.5単位を付与いたします。

後援

山形県 山形大学医学部 一般社団法人山形県歯科医師会 公益社団法人山形県看護協会 一般社団法人山形県薬剤師会
社会福祉法人山形県社会福祉協議会 一般社団法人山形県介護支援専門員協会 山形県難病等団体連絡協議会
一般社団法人山形県老人福祉施設協議会 山形県小・中・高等学校教育研究会養護教諭連絡協議会
山形県医療的ケア児者・重症者の会 Faro～ふぁーろ～ 山形新聞・山形放送 NHK山形放送局



お問合せ

主催

一般社団法人 山形県医師会

TEL. 023-666-5200

Mail. ken-ishi@yamagata.med.or.jp